0501069 | **文化**　　開講日: 令和5年10月13日（金）

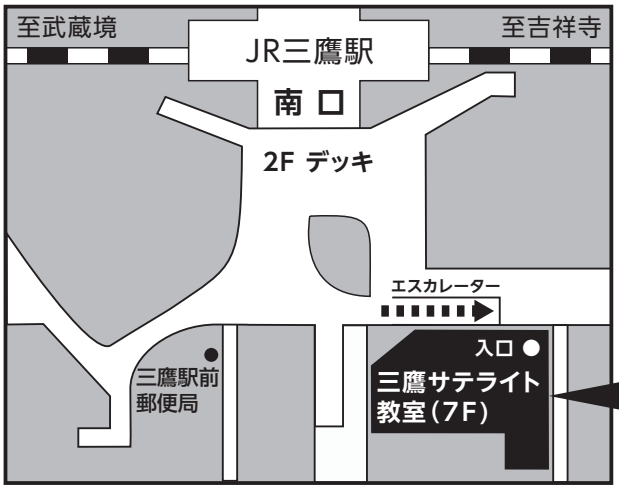
新義真言宗の足跡
―主に紀伊国根来寺を通して―

受講料（振込額）	12,500円				
必携テキスト	―――				
講座概要	曜　日	金曜日			日　程
	時　間	10:00～11:30			10月13・27日 11月10・24日 12月1日
	回　数	全5回	定　員	40名	
	開講場所	三鷹サテライト教室　7F / 大教室			
講　師	日本女子大学名誉教授・東大寺学術顧問　永村 眞（ながむら まこと）				
	熊本県生まれ、早稲田大学政治経済学部経済学科卒、同大学院文学研究科博士課程中退、東京大学史料編纂所助手・助教授、日本女子大学文学部助教授・教授を経て日本女子大学名誉教授。文学博士（早稲田大学）、第２３回角川源義賞、第５５回密教学術賞を受賞。著書に『中世東大寺の組織と経営』、『中世寺院史料論』、『中世醍醐寺の仏法と院家』、編著に『醍醐寺の歴史と文化財』、『中世の門跡と公武権力』、『中世寺院の仏法と社会』等がある。				
内　容	弘法大師空海によりもたらされた真言宗は、時代とともに幅広い階層の崇敬を受け、多様な発展を遂げました。今日に続く古義真言宗と新義真言宗の諸教団ですが、最初の分化は平安院成期から鎌倉時代に見られ、いずれも空海の教義に依りながら、各々が固有の教説のもとで教団を形成し教線を拡げました。そこで今回は、古義真言宗（高野山、東寺、醍醐寺、仁和寺等）と対照される新義真言宗に目を向け、その始祖とされる覚鑁、新義の教説を形作った頼瑜が、教学と教団を育む拠点とした紀伊国根来寺を通して、同寺を祖山、智積院・長谷寺を本山とする新義真言宗の教団の足取りを、鎌倉時代から江戸時代にわたりたどりたいと思います。				
	①10月13日 ：新義真言宗と古義真言宗 ②10月27日 ：覚鑁と頼瑜－教説と本寺－ ③11月10日 ：根来寺の発展 ④11月24日 ：秀吉と根来寺焼亡 ⑤12月 1日 ：根来寺再建と新義教団の再編				

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World
武蔵野大学
Musashino University
響き合って、未来へ。
MUSASHINO 100 UNIVERSITY 1924・2024

武蔵野大学社会響創センター
〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20
TEL：042-468-3222
月～金（祝祭日除く） 9:30~16:30
http://lls.musashino-u.ac.jp/（エルエルエス）
武蔵野大学 生涯学習 検索

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
（三菱UFJ銀行のビル）

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。